

### 市の高齢者無料乗車制度の見直し(案)

- 無料の対象者年齢を 75 歳に引き上げる (段階的に)
- 70 歳から 74 歳は、1 乗車 100 円を負担 (2021 年度から)
- 2020 年度までに 70 歳になり、無料乗車証を所持している人は無料を継続

	70～74歳まで 高齢者割引乗車制度	75歳以上 高齢者無料乗車制度
市民(利用者)	100円	無料
市(一般会計)	50円	150円
交通部(市バス)	50円	50円

※高齢者の1乗車あたりの費用は、回数券と同等の200円とする

※各金額は千円単位

		→制度開始		経過措置期間						制度完成		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
無料の対象年齢と開始年度	70歳以上	S26.4.2～S27.4.1 生まれ		S27.4.2～S28.4.1 生まれ		S28.4.2～S29.4.1 生まれ		S29.4.2～S30.4.1 生まれ		S30.4.2～S31.4.1 生まれ		
			71歳	72歳	73歳	74歳	75歳					
負担割合	利用者	-	13,075	11,804	33,912	30,588	54,659	51,970	70,688	69,002	86,722	86,609
	一般会計(市)	600,000	951,601	960,777	931,837	932,328	893,155	889,356	850,629	833,405	789,168	770,538
	市バス会計	674,276	321,559	324,194	321,916	320,972	315,938	313,775	307,106	300,802	291,963	285,716
	事業費合計	1,274,276	1,286,235	1,296,775	1,287,665	1,283,888	1,263,752	1,255,101	1,228,423	1,203,209	1,167,853	1,142,863

※利用者の金額は2021年度以降に70歳になる人の負担分。市と市バス会計の金額は2021年度以降に無料と割引になる人の費用を負担する分です。

## 敬老無料パス見直し案の追加資料が出ました

12月4日の福祉企業委員会協議会で、委員から「市の説明資料が不十分で、これでは議論ができない」などの意見ができました。市はその意見を受け、12月11日に市議会に追加資料を出しました。その内容を掲載します。

# 迎春



くらし・福祉の充実に、これからもがんばります。  
2020年もどうぞ、よろしくお願い致します

2020年 日本共産党高槻市会議員団

## 日本共産党 高槻市会議員団 市政資料

発行/  
日本共産党  
高槻市会議員団  
高槻桃園町2-1  
電話  
072-674-7230  
FAX  
072-674-3202

中村れい子 ☎685-6686  
宮本雄一郎 ☎695-1900  
きよた純子 ☎676-5068  
出町ゆかり ☎655-8513

12月議会

一般質問 中村れい子

### 市バス路線を守り 70歳からの高齢者無料パス存続を

市営バスの審議会資料では、山間部3路線(田能・杉生・中畑・二料線、萩谷線、成合・川久保線)の縮小、高齢者無料乗車証で利用者に25%の負担を求めるなどの収支予測が出されています。しかし、高齢者に負担を求めれば、市バス利用率は2割から4割減少し、市バスの収入も減少すると見込んでいます。

中村議員は、「市バスの良さは、市の全域に路線を持ち、山間部でも住み続けられること。山間部も含めて、市バスは存続することが高槻市の値打ちだ」と主張。高齢者無料乗車証については、「利用者に議会に提案する前に説明を」と求めました。

75歳からの無料に完全移行(2030年度)した時の利用者負担は約8千6百万円です(上記の表参照)。市と市バスで負担できない金額ではありません。中村議員は、「外出の機会が増え、健康に役立っている。利用できない人を増やさず、制度の存続を」と訴えました。



### 一般質問 きよた純子

#### 担任のいないクラスの解消を

産休・育休や病休をとっている教員の代わりにクラス担任になる教員が見つからないために、担任が欠員のクラスが増えています。担任がいないクラスは、昨年11月1日現在、小学校5、中学校2あります。教頭先生や、算数や理科の専科の教員までが、クラスに入り、手分けして授業するという異常な事態です。きよた議員は、「多忙化の解消、急な病気休みに備えるためにも教員確保が必要」と体制強化を求めました。

#### 特別支援教育の充実を

支援学級は、毎年、百人以上増えています。1年間の中でも10月21日頃からの後期に、今年度は66人増え、小中あわせて1882人になりました。しかし、後期に子どもが増えても、教員は増やされません。そのため、過密な状態が子どもや教員への負担を強めています。きよた議員は、学習活動支援員の増員など求めました。

通級指導教室(以下教室という)は、きつ音や情緒障がいなど指導の必要な子どもが通う教室です。小学校9校、中学校で3校にあります。自分の学校に教室がある子は授業中に指導を受けます。しかし、自分の学校に教室がない子どもは授業が終わってから、教室がある学校に通うことになるため、指導は放課後になります。保護者の送り迎えができない場合もあり、自分の学校に教室があれば、指導が必要な子どもが通える条件が増えます。きよた議員は「定員がいっぱいで入れない子どももいる。国、府に全校に設置するよう求めるべきだ」と訴えました。

### 一般質問 出町ゆかり

#### 認知症予防に歯の健康、補聴器補助

補聴器が定着しにくい理由に、平均15万円と価格が高く、補聴器がなじむまで2〜3か月かかるなど、自分にあった補聴器を見つけにくいことがあげられています。現在、全国で20の自

## 高槻市長に 要望書を提出 (12月26日)

日本共産党高槻市議員団と、高槻・島本地区委員会は、高槻市の2020年度予算編成と市政運営について、14項目の重点要望とともに、107項目の要望をしました。その一部を掲載します。

### 重点要望

#### くらしと福祉の充実のために

1. 市営バス 高齢者無料乗車証制度について
  - ◎市営バスの路線を山間部も含めて維持すること。
  - ◎民営化は行わないこと。
2. 国民健康保険制度について
  - ◎収入のない子どもへの均等割については減免すること。
3. 子育て支援や教育の充実について
  - ◎幼稚園、保育所の民営化や民間委託を行わないこと。
  - ◎希望者が入れる幼稚園、保育施設の整備を
  - ◎中学1年での35人以下学級を実施すること。
4. 地球温暖化対策について
  - ◎脱プラスチックへの啓発をすること。
5. 国に対して要望すること
  - ◎消費税を5%に戻すこと。
  - ◎介護保険の見直しをやめること。必要なサービスが受けられるようにすること。
6. 大阪府に対して要望すること
  - ◎カジノ誘致をやめること。
  - ◎国民健康保険料の統一化をやめること。

治体が補聴器購入の補助を実施しています。出町議員は「市として住民税非課税の人に補聴器購入への支援の検討を」と求めました。また、歯の健康については、日本歯科医師会の報告に、噛むことによって脳の血流がよくなるなど認知症予防になるとあります。歯科検診の受診を増やす実効性のある対策を求めました。

日本共産党の

## 定例 法律相談会

- 弁護士が相談に応じます
- 毎月、第2水曜日 午後6時30分より(要予約)
- ☎685-6661

# 桜を見る会、安倍政権の国政私物化許さない 招待者解明を妨害する姿勢を改め真相解明を!

日本共産党